



《元気な金目 未来につなぐ》

# 金目エコだより

発行日 令和8年4月1日

発行者 金目エコミュージアム広報委員会

連絡先 平塚市立金目公民館内 ☎58-0101

<http://hiratsuka.johokyoju.net/area/kaname>



## 東海大学資料館を見学しました！

金目エコミュージアムでは毎年研修の一環として、一昨年は平塚市埋蔵文化財事務所、昨年は平塚博物館を見学しました。今年は東海大学資料館、考古学宮原俊一先生の研究室を見学しました。



総勢 23 名参加。1 月 28 日（水）10 時から一時間程お話を聞くことができました。

研究室に入ってまず驚いたのは、発掘された土器の数と種類の多さです。その中心は王子ノ台遺跡からのもので、現在大学の敷地内にあり、北金目台地にある縄文時代の遺跡です。また、近くの真田・北金目地区では多くの遺跡が隣接し、密集しており、各遺跡とも複数の時代にまたがっているとのことでした。このことから、この地域が人々にとって住みやすい場所だったことがわかります。これらの遺跡や出土品は東海大学湘南キャンパスの建設や、真田・北金目地区の住宅開発に伴う発掘調査によって発見されたものでした。



当時の人々の暮らし（食料、道具、住居、社会等）をまとめてみました。今を生きている我々とは全く別の人類かと思われます。果たして、1,000 年後の社会はどうなっているのか考えてみただけでも楽しみです。

|     | 旧石器時代<br>(紀元前約13,000年以前)  | 縄文時代<br>(紀元前約13,000年～同800年頃) | 弥生時代<br>(紀元前800年頃～紀元3世紀頃) |
|-----|---------------------------|------------------------------|---------------------------|
| 食料  | 狩猟採集                      | 狩猟採集中心                       | 稲作中心                      |
| 石器  | 打製石器                      | 磨製石器                         | 磨製石器                      |
| 土器  | —                         | 縄文土器                         | 弥生土器                      |
| その他 | 骨角器                       |                              | 青銅器・鉄器                    |
|     |                           | 土偶                           | 石包丁・高床倉庫                  |
| 住居  | 移住生活                      | 竪穴住居                         | 竪穴住居                      |
| 社会  | 貧富の差はない<br>ムラ (小さな集落) で生活 |                              | 貧富・身分の差                   |

## 金目エコ(自然学級 G)の研修会を開催しました！

金目エコの自然学級Gは、2月26日(木)、午前9時30分から金目公民館図書室において、神奈川県環境科学センター 調査研究部 水源環境保全担当主任研究員の長谷部氏と鈴木氏の両氏を講師に招いて「金目川の自然環境およびその保全」について講演していただきました。

講演者からは、金目川は県下でもきれいな川で、魚貝種の数が多い生物多様性のある川との言葉をいただきました。しかし、この生物多様性を維持するのは地域住民であるとのことでした。

「金目といえば金目川、金目川といえば金目」というほどに、金目地区(人)は縄文時代後半～弥生時代から金目川に依存して生活してきました。金目の歴史、文化、自然はこの金目川によって作られたようなものです。金目に住み、金目エコの自然学級グループに属する者にとって、金目川を知らずして金目を語るなかれ！の考えから、また金目エコ会員の皆が地域学芸員として金目の歴史・文化・自然を語るためにも、まずは金目川をよく知る必要があると考え、初めて研修講演会を開催しました。

次回は、金目川土手で見られる植物や野鳥に関する研修講演会を開催したいと考えています。その時は、地域の皆様も参加していただこうと考えています。



## 金目公民館ふれあいまつりに参加しました！

2月28日（土）～3月1日（日）の2日間にわたり、金目公民館ふれあいまつりが開かれました。好天に恵まれ、朝10時開始されると、多くの人々でにぎわいました。

金目エコでは、自然学級 G が図書室において両日とも科学の楽しさを体験・実験する「大人と子どもの遊び場コーナー」を開設、また、2日目には体育館において、昨年から新たに金目エコ全体で参加、各 G の活動状況を写真パネルで紹介・展示、昔遊び、歴史かるた、出版物の販売展示等各コーナーを設置しました。



葉脈の葉づくり



ダイランシー遊び



練り歯磨きで進むヨット



竹馬乗り



空気砲で風圧の体験



歴史かるた取り



令和7年度金目エコだより展



金目の昔の風景・風物詩写真展示

## 「真田城址」の説明版を設置しました！

金目エコミュージアムは2月24日、真田与一公園の正面入口横に「真田城址」の説明版を設置しました。

この看板には、源頼朝が旗揚げした「石橋山の戦い」で先陣を務め、討ち死にした真田与一（三浦一族の岡崎四郎義実の嫡男）がこの真田の地に館を構えたことが書かれています。さらに与一亡き後の真田城の行く末が書かれ、また真田城が相模国掌握の軍事拠点として機能していたことが記されています。

真田与一公園に散歩で行かれた時は、真田城と与一、さらに天徳寺、与一廟へと足を延ばして真田の歴史を知っていただければ幸いです。



「真田城址」説明看板の前に 金目エコ会員

## ゲンジホタルの幼虫放流

親水公園ホタル保存会と金目エコミュージアムは、昨年の5月に種ホタルを捕獲して、産卵・孵化させ、体長2mmの幼虫から、夏の水温に万全の注意を払いながら終齢幼虫（25mm～30mm）まで大切に育て、2月11日（水・祝）に350匹の幼虫を金目親水公園の水路に放流しました。

放流したホタル幼虫は、3月中旬ごろから雨の日の夜に、川から土手へ上陸して土まゆを作って蛹となります。5月初旬に羽化して地上に出て、空を飛び回ります。

金目親水公園のホタルは神奈川県下で最も早い時期に飛び回るホタルと言われていています。今年はどれだけ数のゲンジホタルが飛び回るかに大いに期待されます。

なお、5月9日（土）親水公園にて観察会を行いますので是非ご参加下さい。



幼虫放流



土まゆの中の蛹



羽化直前のホタル成虫

## お知らせ（イベント開催予定）

|          |           |             |                |
|----------|-----------|-------------|----------------|
| わかば祭り    | 5月 2日（土）  | 10:00～15:00 | 金目ふれあい広場・金目観音  |
| 親子ホタル観察会 | 5月 9日（土）  | 18:15～20:00 | みずほ小体育館・金目親水公園 |
| 自然観察会    | 5月 16日（土） | 10:00～12:00 | 金目親水公園         |
| 竹の子まつり   | 5月 30日（土） | 9:30～11:30  | 金目公民館          |